

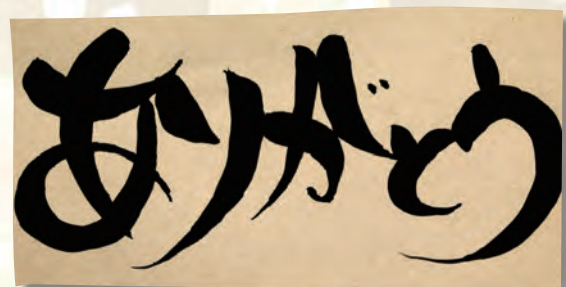
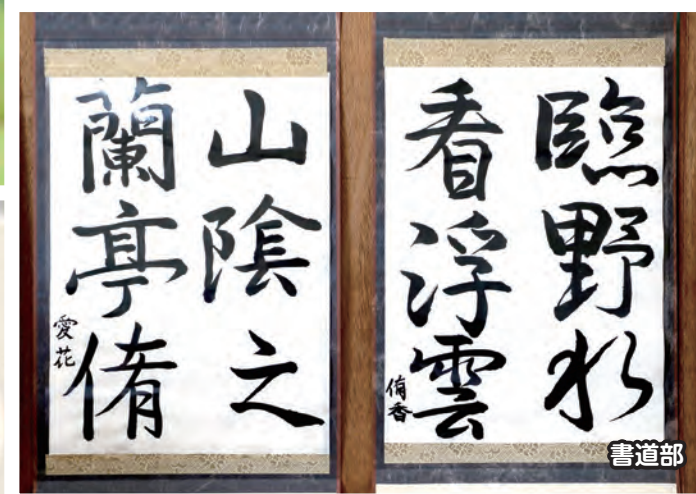
あんじょ市議会だより

第43号 | 令和2年2月1日(2020年)
12月定例会



主な内容

- 2頁 主な議案と審議
- 3頁 委員会・部会の活動状況
- 4頁 一般質問のあらまし
- 10頁 行政調査報告
- 11頁 議案などの審議結果



表紙作品は安城南高校の生徒さんから提供していただきました。詳細は裏表紙をご覧ください。

条例の改正など14案件を議決

議案質疑・委員会審査における
主な質問などを掲載します。

条例関係議案

安城市職員の給与に関する条例の一部の改正

人事院勧告に伴う国家公務員の給与の改定及び愛知県人事委員会勧告に伴う県費負担教員の給与の改定を踏まえ、安城市職員の給与を改定するもの

問 転職者の転職前の在職年数は、どのように職歴加算されるのか。

答 安城市初任給、昇格、昇給等に関する規則の「経験年数換算表」によって定められている。

例えば、公務員の転職者の場合、在職期間の換算率は、10割としている。また、民間企業からの転職者の場合、市が求める経験・資格を有する者の換算率は8割、

その他の者は6割としている。

安城市高齢者地域生活支援促進事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部の改正

問 令和2年3月31日までの条例の効力期限を無くす理由と、この基金の使いみちである町内福祉委員会とその他の団体数と補助額は。

答 ごみ出しなどの生活支援活動や介護予防につながるるサロン活動を行って、いる団体に補助を行っている。この事業が介護予防として有効であり、今後も安定的に継続させることが必要と考えるため。

平成30年度の実績は、町内福祉委員会に活動費年3万円を47団体



に計140万円余、住民主体の団体等には運営費や施設整備費等の補助金を34団体に計350万円余を交付した。

問 基金からいつまで繰り出せるか。また、その後の考えは。

答 現在の補助内容であれば、10年程度は基金から繰り出せると考える。基金終了後の事業継続については、今後、基金残高や事業の実地状況をみながら検討していく。

12月補正予算案

一般会計13億1118万円を追加

■主な歳出の内容

▼児童クラブ事業 470万円

問 児童クラブ修繕料として340万円計上されている

が、その内訳と、備品購入費130万円について伺いたい。

答 児童クラブへの入



会希望に対応するため、東部小学校、桜井小学校、祥南小学校において特別教室の1教室を改修しクラブの拡充を行う。修繕料はセキリティや雨よけの底などの設置、備品購入費はテレビ・下駄箱などの購入にあてる。

▼土地改良事業推進事務 493万円

問 事業の内容と負担金、補正でこの時期に行われた理由は。

答 国や県事業により整備された基幹水利施設を管理している明治用水土地改良区への運営体制に支払われる補助金で、市町村の負担金である。

昨年度、県の予算編成で、国と県が了承し、市へ3月末に説明があり、県と流域8市の協議が10月に整った。期間は今年度から令和4年度までで、負担割合は国が50%、県は25%、受益区域の8市が25%。本市負担金は受益面積割合の58%から算出。内容は緊急遮断弁など本線制水弁の電動化、流量計設置及び遠隔監視制御システム設置や人件費。これらが完成すると管理所から送水停止ができるようになる、今年度は西井筋へ設置が予定されている。

■主な債務負担行為の内容
▼広報あんじょう発行事業

1億1400万円

問 月に2回の発行回数が増えることになり、ページ数が多くなる。わかりやすくするために、フルカラー印刷することのだが、なぜ、縦書きから横書きに変更するのか。

答 現在、特集等の前半部分は縦書きに、市からのお知らせ等の後半部分は横書きになっており、縦書きと横書きが混在している。さらに、縦書きのページに横書きの表が入っているなど、読み進める目線の方向が統一されていない状況。

そこで、発行回数変更に合わせて紙面構成を見直し、横書きの左開きにし、これにより、読み進める目線の方向を統一できるようにしていく。

▼夜間防犯パトロール事業

2200万円

問 夜間防犯パトロールの業務内容は。

答 青色回転灯を搭載した車両2台を使用し、二人一組で市内の北部・南部方面を午後八時から翌日午前四時までの間、市内を巡回し

ている。また、巡回前には安城警察署に立ち寄り、犯罪発生状況など、必要に応じてパトロールの指示を受け、パトロールを実施している。



問 夜間防犯パトロールの効果は。

答 刑法犯認知件数は、事業開始前の平成21年の3602件に対し、平成30年は1332件と着実に減少を続けている。これは町内会と警察など、官民一体となった各種防犯対策と併せてこの夜間防犯パトロール事業も、犯罪抑止には一定の効果があるものと考えている。

▼スポーツセンター自動券売機等更新事業

3450万円

問 導入する券売機には新しい手段のキャッシュレス決済も可能になるのか。

答 現在のレジャープールと同



様に、磁気カード型からICカード型のプリペイドカードへ変更していく。新しいキャッシュレス決済機能導入に関しては、決済手段の選択や導入費用、決済手数料などの課題があるため、今回は見送ったが、新しいキャッシュレス決済機能を追加することができるものを導入する。

■債務負担行為の内容
▼桜井施設整備事業

1500万円

問 事業の内容と事業開始から20年が経過し、現在の進捗状況は。

答 今回は地区内6か所、4100㎡の整地工事を行う予定。

平成30年度末の進捗状況として、道路築造率は88・

4%、家屋移転率は92・9%、使用収益率は72・5%であり、事業計画の完了年度である令和7年3月末を目標に取り組んでいく。



委員会部会などの主な活動状況

11月	
25日	議会運営委員会
	議会改革検討委員会
	総務企画部会
28日	全員協議会
	福祉環境部会

12月	
10日	産業建設常任委員会
11日	市民文教常任委員会・部会
	総務企画市民文教合同部会
12日	福祉環境常任委員会
13日	総務企画常任委員会・部会
16日	議会運営委員会・議会改革検討委員会

一般質問のあらまし

【映像配信】



【会議録】



QRコードを読み取って
ご覧ください。
※パケット・通信料が
かかります。

11人の議員が54項目の一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁の要旨を掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録(2月下旬掲載予定)や録画映像でご覧いただけます。

代表質問、一般質問や閉会日はライブ中継を実施しています。次回の日程については裏表紙をご覧ください。

市議会のウェブサイト⇒



スマートフォンやタブレット端末からも
各議員の代表質問や一般質問の録画映像をご覧いただけます。

答 基本方針は次の3点である。
①「持続可能な財政運営」を堅持し、ニーズに合わない施策や費用対効果の低い事業は見直し更なる行政効率の向上に努める。②「未来への投資」として将来の税收アップにつながる投資事業を積極的に実行する。③「現在の課題への対応」として市民生活に身近な課題についてニーズと効果を見極めながら確実に解決していく。



問 令和2年度予算編成方針はどのようなものか。

令和2年度予算編成方針について



安城創生会
こんどうゆきお
近藤之雄議員



問 後期計画で重点的に進めていく施策はどのようなものか。
答 第8次総合計画(後期計画)を「ケンサチ2.0」と銘打ち、次の3つの柱で推進していく。①ひとつづくり：地域で支える健康づくりのしくみの構築。子育て環境の充実。スポーツを通じた地域活性化。②しごとづくり：引き続き企業を誘導する環境整備、スマート農業の推進、広域連携による商業・環境振興。③まちづくり：地域における防災力の向上。JR三河安城駅における公民連携事業の推進。

第8次安城市総合計画(後期計画)について



みらいの風

守口晶治議員

安城七夕まつりでのワンウェイプラスチック削減対策について

問 今年の安城七夕まつり開催中、ワンウェイプラスチック削減等で取り組まれた内容とその結果は。



配付された紙製ストロー

答 安城「イチオシ」ぐるめぐりの店舗に紙製ストローを試験的に配付。タピオカドリンクを販売する店舗には、太いストローを、その

他は通常のストローを用意し、購入者へ配付してもらった。
各店舗に感想を聞いたところ、「長時間使うと、水分を吸収し、柔らかくなり使いづらい」「紙の味がドリンクに移る気がする」等の意見が出され、課題が残った。

テレビ電話通訳システムについて

問 9月より、外国人の方々からの様々な相談支援として窓口でのテレビ電話通訳システムを導入したが、導入後の実績は。



答 9月は19件、利用時間は計275分間、10月は41件、計485分間。利用言語が多かったのは、ポルトガル語27件、フィリピン語15件。

相談内容が多かったのは、出産や子育てに関すること、次に、年金・税金に関する相談であった。



公明党
安城市議員

法福洋子議員

防災・減災対策について

問 地域の特性を知るために「雨量想定1000年に一度」のハザードマップを作成することについて市の考えは。

答 矢作川の新基準は平成28年に公表され、本市も改訂が必要と考えていた。猿渡川や半場川及び鹿乗川などの愛知県管理河川の新基準による改訂が今年度実施されることから、この後に本市全域における想定最大規模降雨としての洪水ハザードマップを作成してゆく。



問 マイ・タイムライン（行動計画）についての取り組みは。
答 新基準となる矢作川の想定最大規模降雨による浸水区域の地域においては、マイ・タイムラインを取り込んだ「手づくりハザードマップ」や「地区防災計画」の策定を促して行く。

健幸都市推進のための取り組みについて

問 国民健康保険の糖尿病重症化予防における治療中断者への取り組みは。

答 健診の受診は、健康状態を把握する最良の手段であり、受診勧奨の実績でも、治療中断者の7割に近い層をカバーできている。加えて、健診結果に基づき、保健師が医療機関への受診が確認できるまで、最多で4回もの受診勧奨を行っている。

今後も効果的な健診の受診勧奨に努める。





日本共産党
安城市議員団
もりしず子
森下祥子議員

外国籍の児童生徒への日本語教育の充実について

問 日本語理解が困難な児童生徒が自力で通うことができる日本語初期指導教室を増やすか、または日本語適応指導教室に集中指導コースを併設できないか。



答 各学校に初期指導教室を設置することは考えていない。コース併設は、指導技術のある人材確保や費用、運用の面からも、初期指導教室に児童生徒を集めて一緒に指導をする方が現実的だと考える。

問 学校に日本語指導が必要な児童生徒が一人でもいれば、対応する教員を確保する必要があるのでは。
答 指導教員の配置充実について、都市教育長協議会からも県へ要望している。

被雇用者の税金滞納、差押えについて

問 給与等を差押えられている人の健康で文化的な生活は保障されているのか。

答 生活維持が困難であると認められ、かつ、納税について「誠実な意思」があると認められる場合、地方税法に財産の差押えを猶予することができる「換価の猶予制度」が定められている。滞納で困っている人は納税課へ相談に来てほしい。



安城創生会
あきなぎよはる
杏名喜代治議員

榎前地区の道路整備事業について

問 工業団地完成後の交通量の増加は約7〜19%と見込まれる。そのため渋滞対策は。



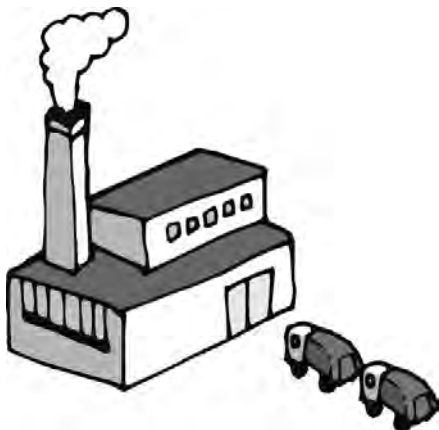
答 榎前町井杭山交差点の安城碧南線では、南側から交差点を左折し国道23号へスムーズに曲がれるよう左折車線を設置するなど周辺3か所の交差点の改良を行っている。他に進出企業へのヒアリングを実施し、時差出勤などの協力依頼や工場が稼働した際には、周辺道路の交通量についての実態調査を検討していく。

ごみ焼却施設の更新計画について

問 次期施設の更新計画は。

答 現在のごみ焼却施設は平成9年に稼働し22年経過。平成30年度に実施した精密機能検査では令和13年度まで稼働させ、次期施設への切り替えは令和14年度からバトンタッチすることが経済的に望ましいとの報告があった。

廃棄物処理施設整備基本構想を令和2年度末までに策定し、個々の計画策定など具体的な手続きに入る。また、建設候補地は現位置も含め総合的な観点で検討を行っていく。





安城創生会
いしかわひろひこ
石川博英議員

三河安城駅南地区土地区画 整理事業について

問 地元まちづくり研究会の現在の協議状況は。

答 愛知県からの意見、安城市の提案を受け、岡崎半田線、岡崎刈谷線と新幹線に囲まれた10haと岡崎刈谷線を挟んだ8haを加えた先行区域18haでまずは事業を進めていくことが決定された。

市道美園篠目線について

問 歩行者の安全のために、様々な対策が可能と考えるが。

答 新たに歩道を確認することは困難であるが、立体交



危険箇所

差部内の視認性を高めるため、照明を明るくすることや、路側帯への車のはみだしを警告する特殊な区画線を設置することなど、安城警察署や地元町内会と相談する。

魅力ある学校づくり事業の その後について

問 「魅力ある学校づくり」事業で設置された二本木小学校の大型木製遊具が使用禁止となっている。今後の取り扱いはどうなるのか。

答 老朽化しており、安全面から使用できない状況であることから、時期などを調整し、撤去していく。



木製遊具



安城創生会
いしかわひろお
石川博雄議員

あんくるバスの充実について

問 あんくるバス事業の計画改定スケジュールは、どのようか。

答 今年度は市民アンケート等の分析により、市民の評価を整理する。来年度から利便性向上策等を検討し、現計画が終わる令和4年度までに計画改定を行う。

保育行政について

問 高棚保育園等5園では、低年齢児保育、延長保育が行われていない。その理由は。

答 多様な保育ニーズに対応するため、5園



では、一時保育や特別利用保育を実施している。空き教室等がないこと、必要な園に保育士を重点的に配置していることから、低年齢児保育等は実施できない。

南海トラフ地震の火災対策 について

問 大地震の揺れで、屋内配線に傷ができ、火災となる。対策はブレーカーを切ること。通電再開後、ブレーカーを入れる時の注意は。

答 電気機器、配線等に破損がないかなど、安全確認の上、行うことが常であれば直ちにブレーカーを切ること。





安城創生会
寺沢正嗣議員
てらざわまさし

文化財保護と史跡公園整備について

問 文化財保護についてクラウドファンディング等の手法を考えているか。防火体制や石垣の劣化など、本證寺の史跡整備について、今後どのように進めていくのか。
答 クラウドファンディングの活用は、文化財の保存修理事業には適している。令和4年には「聖徳太子千四百回忌」を迎える。重要文化財「聖徳太子絵伝」の修理のような多くの方から共感を得られる



本證寺

使い道や話題性を活かすなど、まずはそのやり方を研究したい。石垣修理は緊急を要するので来年度再調査を行い、対策を検討する。防火対策などは史跡整備の全体計画の中で検討していく。

広報あんじょうの発行回数 の見直しについて

問 市民の重要な情報ツールである広報の月2回発行を1回に変更すると聞いた。市の見解は。
答 本市は電子媒体による情報発信を進めており、その普及により市民自らが欲しいときに欲しい情報を得られる機会を増やしてきた。さらに来年度から配布方法の見直しもあり、配布経費の節減の観点からも月1回の発行とする。発行回数は減るが、市民に伝える情報量については今後も減らさない。



志
白石松美議員
しらかしまさみ

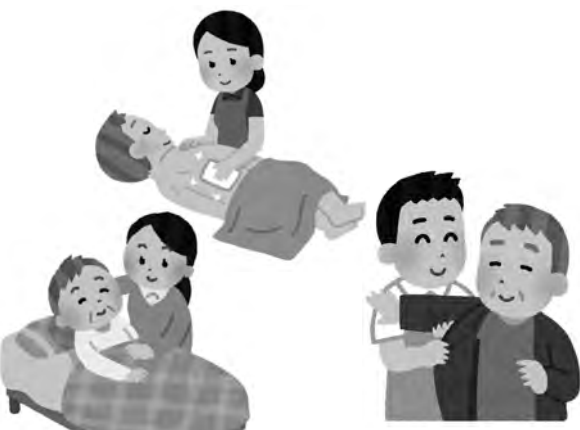
振り込め詐欺防止機設置について

問 テレビや新聞で高齢者をねらった振り込め詐欺などの特殊詐欺が目につく中、刈谷市では電話機に取り付ける『不審電話防止装置』を1台2000円で販売している。警察や刈谷市に聞くとその効果は有るようだ。安城市も『振り込め詐欺抑止装置』などを防災ラジオ同様に安価に販売する必要があるのではないか。
答 高齢者の安全安心な暮らしのために、今後、抑止効果を検証した上で設置促進策を検討していく。



介護職員の待遇改善について

問 ①市独自で所得向上に向けて何らかの対策はできないか。②介護職の方たちの社会的地位向上に向けた施策を考えないか。
答 ①介護職員の賃金は国が定めた介護報酬を原資として各事業所から支払われている。まずは国の加算制度の実施を促すことが重要である。②市としては介護職のやりがいなどを広く知ってもらう取り組みが必要と考える。今後、やりがいなどを広くPRする取り組みについては、現場職員の声を聞きながら研究していく。





安城創生会
かみやきよたか
神谷清隆議員

南明治第三土地区画整理区 域周辺の整備について

問 JR安城駅の改札口をプラットホームの西側の端にもう1か所作つたらどうか。実現すれば駅前デッキによる周辺道路の手狭さが解消されると思うが市の見解を伺いたい。

また現在ある市所有の立体駐車場、それから日本通運(株)と土地取得で交渉中の日通倉庫はどのように活用されるのか。

答 JR安城駅を中心とした市街地は、本市の都市拠点として、駅周辺を中心に居住や都市機能を高密度に集積すべき地区として位置づけている。

新しい改札口や市営駐車場、日通倉庫などの民有地、さらには駅前デッキやロータリーなども含めた、JR安城駅周辺の将来ビジョンの研究を、まずは行っていく必要があると考えられる。

第三次安城市都市計画マスター

プランでは、「市民とともに作り・つかう協創のまちづくり」を掲げている。これからのまちづくりにおいては、市民、地域団体、事業者及び行政が協力しながら課題を共有し、まちをつかいながら、その将来像・ビジョンをつくっていくこととしている。

こうしたまちを皆さんがつかっていくことを積み重ねていく過程を経ながら、JR安城駅周辺のまちづくりを考えていく必要がある。



立体駐車場周辺

◆その他の質問：教育問題について、男女共同参画について、内水対策について、榎前地区工業団地について



新社会
いしかわ つげき
石川 翼議員

河川の管理について

問 河川法1条の、「洪水、津波、高潮等による災害発生の防止」のため、各級河川において、具体的にどのような管理が行われているのか。

答 一級河川矢作川を管理している国土交通省豊橋河川事務所は、矢作ダムや矢作古川分派堰での洪水調整や、浸水した場合に備えて大型の排水ポンプ車を3台保有し、普段から車両の操作訓練を行っている。また、水位を遠隔監視しており、市内においても木戸町での水位観測や藤井町など計6地点においてカメラが設置されている。一級河川鹿乗川、西鹿乗川及び二級河川を管理している愛知県知立建設事務所は、鹿乗川など計4地点で水位観測を実施し、登録された住民に対して大雨や洪水などの防災情報を携帯電話・スマートフォンにメールで配信している。

市においては、内水対策として多くの調整池を整備しており、一定以上の水位に達すると自動的に調整池に流入させており、貯留状況や排水ポンプの稼働状況を遠隔監視している。また、家屋の浸水被害が発生する恐れのある準用河川堀内川など計8地点で水位観測を行い、追田川と柿碕町地内の排水路の2地点においては併せてカメラ監視も実施し、河川の状況把握に努めている。

その他、矢作川に合流する排水路の樋管などにおいて、矢作川の水位上昇時に排水路への逆流防止のためにゲートの操作を実施し、災害発生の防止に努めている。



行政調査報告

●議会運営委員会

《10月2日～4日》

■東京都町田市

『高校生意見交換会、事務局強化、包括連携協定など議会活性化の取組について』

意見交換会は生徒の活発な意見交換が行われ非常に参考になる意見も多く意義深いと感じた。

事務局強化は、法務担当職員が配置され、条例関係の実務的助言など有用性を確認できた。

包括連携協定は、他市議会と議員交流会を開催。事務局職員の1年間の交換など互いの学びあいをし、面白い取り組みと感じた。



町田市の視察の様子

■埼玉県越谷市

『学生議会、委員会放映など議会活性化の取組について』

本市議会でも中学生を対象に

行っているが、学生も議会も主体的に計画運営している点は見習うべきだと感じた。

委員会放映については、経費をかけない簡易録画を試行的に配信しているが、非常に安価であり、参考になった。

■宮城県登米市

『委員会ロードマップ、政策アドバイザー制度など議会活性化の取組について』

ロードマップは委員会の調査の一貫性や継続性を持たせることと、議会内での活動内容の共有化を目的にしている。

政策企画調整会議において委員会毎の情報共有を随時図っている点や、政策アドバイザー制度など議会強化策も既成概念にとらわれず知恵を絞り行っているところなど、本市議会においても参考にすべきと考える。

●未来型施設整備研究特別委員会

《10月9日～11日》

■東京農村(東京都港区)

『東京農村について』

東京農村は東京の農業を味わ

い、知って、繋がれる拠点として設立。東京の農・食に関する幅広い情報に触れることや、繋がりを創ることができる。地産地消を目指す、農業を一つの手段として地域の人々を繋げていく行動が素晴らしいと感じた。

■群馬県沼田市

『テラス沼田について』

老朽化庁舎等の問題解決のため、既存の商業施設を庁舎・市民活動・商業施設の3つの機能を有するテラス沼田として再整備した。

分散していた庁舎を集約して市民サービスの向上、業務効率化を図りつつコスト削減に寄与できた。だれでも使える休憩スペースが多く設置され、市役所を身近に感じるのではないかと考える。複合施設として、役所らしくないデザインなどの工夫もされ、このよ

うな市民目線を大切に



沼田市の視察の様子

参考にすべきと思った。

■茨城県鹿嶋市

『いきいきゆめプールについて』

いきいきゆめプールは学校用と市民用の両方の役割を持つ屋内温水プールである。授業が天候に左右されず予定通りにできるメリットは大きいと感じた。

通年での利用が可能になり、市民の健康増進と医療費削減につながる。鹿嶋市は未実施の残り5校も温水プール化を検討しており、本事業の有効性を感じた。

●戦略的モビリティイマネジメント特別委員会

《11月18日～20日》

■栃木県宇都宮市

『LRTとまちづくりについて』

LRTは次世代型路面電車である。宇都宮市はLRTとバス路線を振り分け、公共交通空白地域の解消や拠点間の連携強化等を図る。高齢になっても移動しやすいまちにすることで外出機会の増加などにより経済の停滞も防ぐ。

宇都宮市より人口が少ない本市では、導入には調査研究が必要だと感じた。

高校生 × 市議会 ～安城南高校～

高校生とのコラボ企画第4弾！市議会だより編集委員会より表紙作品に携わった安城南高校の4名(書道部、ボランティア部、写真部、美術部)の方にインタビューしました。(11月12日訪問)



最初は互いに緊張しながらの話合いでしたが、徐々に緊張が解け、生徒の皆さんに笑顔が見られました♪
(上写真及び右下写真参照。)



Q.部活動の普段の活動内容または入部して楽しかったことは？(議員から生徒へ)

A. 字の書き順やバランスについて、改めて学びました。(増田さん)

自分たちが作った作品を文化発表会で販売して、お金を福祉施設へ寄附しています。(松本さん)

1つの物をいろいろな角度から撮れることが楽しいです。(萬代さん)

Q.表紙のパンダの作品はどうやって作ったの？(議員から生徒へ)

A.文化発表会参加者とともに塗装した爪楊枝を立てて作りました。文化発表会参加者に美術を手軽に体験してもらうために企画しました。(清水くん)

Q.若い人たちについて何か考えていますか？(生徒から議員へ)

A.議員みずから、若い人たちが集まる場所へ出向き、考えを共有したいと考えています。



3月定例会の開催予定

3月 4日(水)	開会・市長施政方針
5日(木)	代表質問
6日(金)	一般質問
9日(月)	一般質問
11日(水)	議案質疑
12日(木)	産業建設常任委員会
13日(金)	市民文教常任委員会
16日(月)	福祉環境常任委員会
17日(火)	総務企画常任委員会
24日(火)	閉会

KATCH放映(録画)

6日(金)	午後1時
18日(水)	午後6時
19日(木)	午後6時
23日(月)	午後6時

地上デジタル11チャンネルで録画放映されます。

・開始時刻はいずれも午前10時からです。 ・請願、陳情の提出締切りは2月25日(火)です。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【問い合わせ】安城市議会事務局

〒446-8501 安城市桜町 18-23 / Tel.0566-71-2252 / Fax.0566-77-8200 Eメール: giji@city.anjo.lg.jp